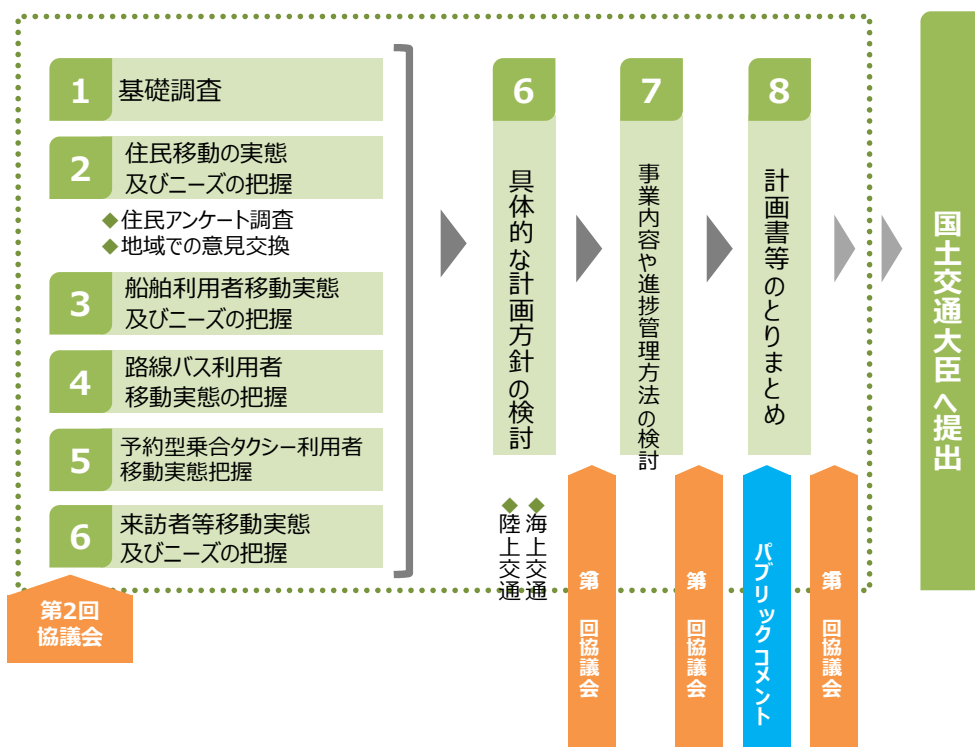


各種調査結果と江田島市の公共交通の課題について

計画策定の流れ

2



本日の論点

3

- 各種調査結果から浮かび上がった問題点・課題に漏れなどはないか？
- 課題を踏まえて設定する「基本方針」等は、江田島市の今後の公共交通のあり方を示すマスタープランとしてふさわしいか？

4

住民アンケート調査について

住民アンケート調査の概要

5

目的	市民の移動実態や既存の公共交通のサービス改善ニーズを把握
調査対象	江田島市の住民の中から、地区単位で同じ数だけ、計4800世帯を抽出 ※地区の世帯数が同数に満たない場合は地区の全世帯を対象とした
調査	発送：平成27年9月18日 投函期限：平成27年10月6日
設問内容	<ul style="list-style-type: none"> ・属性（居住地区、年齢、免許保有状況、自家用車保有状況） ・日常における移動手段、公共交通の利用頻度 ・通勤・通学実態（通勤・通学先、移動手段等） ※通勤・通学する者 ・通院・買い物実態（利用施設、移動手段等） ・通院・買い物ニーズ（利用したい施設） ※潜在ニーズ ・公共交通（主に航路・路線バス・おれんじ号等）の満足度、具体的な不満の内容 ・路線バスの必要性（必要のレベル、すぐいるのか、先々いるけど今は利用しないのか） ・日常的に利用している棧橋・航路 ・フェリーでの車両輸送の実態・必要性
調査方法	郵送配布、郵送回収 (世帯ごとに調査票を2部ずつ配布)
回収状況	回収：1863世帯 回収率：38.8% (調査票：3011部)

※表やグラフ内の割合表示は、端数処理の関係で合計が100%にならない場合がある

市の人口構成と回答者の状況について

6

□ 全体的にやや高齢の方の回答が多い

年齢層	江田島			能美			沖美			大柿			全市※地域分類不能42部含む		
	人口	票数	サンプル率	人口	票数	サンプル率	人口	票数	サンプル率	人口	票数	サンプル率	人口	票数	サンプル率
0～14	754			537			213			615			2,119		
15～19	245	11	4.5%	221	27	12.2%	100	14	14.0%	264	17	6.4%	830	69	8.3%
20～29	925	39	4.2%	425	17	4.0%	266	11	4.1%	549	26	4.7%	2,165	93	4.3%
30～39	1,008	69	6.8%	509	46	9.0%	272	39	14.3%	629	59	9.4%	2,418	214	8.9%
40～49	900	69	7.7%	602	91	15.1%	310	60	19.4%	807	79	9.8%	2,619	301	11.5%
50～59	1,001	96	9.6%	593	109	18.4%	356	79	22.2%	843	96	11.4%	2,793	383	13.7%
60～69	1,597	265	16.6%	954	265	27.8%	688	270	39.2%	1,298	211	16.3%	4,537	1017	22.4%
70～	2,638	219	8.3%	1,577	202	12.8%	1,131	220	19.5%	2,314	250	10.8%	7,660	910	11.9%
年齢不明		2			4			3			4			24	
合計	9,068	770	8.5%	5,418	761	14.0%	3,336	696	20.9%	7,319	742	10.1%	25,141	3,011	12.0%

※人口は平成27年8月1日時点の住民基本台帳

市民の通勤先

※住民アンケート調査結果より

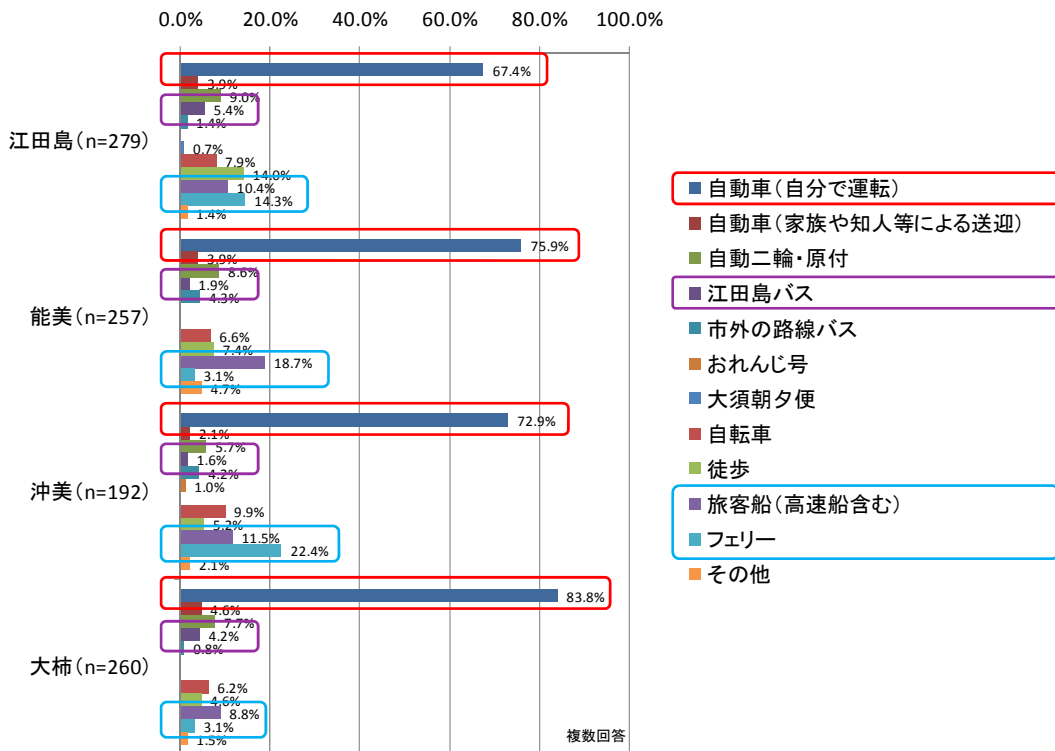
- 市内では江田島地域への通勤が多い
- 市外では広島市（特に能美・沖美地域の住民）や呉市（特に江田島・大柿地域の住民）への通勤が多い

通勤先\居住地	江田島 (n=267)	能美 (n=242)	沖美 (n=179)	大柿 (n=251)
江田島	60.3%	57.0%	50.3%	56.6%
能美	2.6%	7.0%	2.8%	2.4%
沖美	0.0%	1.2%	6.1%	0.8%
大柿	3.7%	3.7%	4.5%	11.6%
広島市	12.0%	18.6%	29.1%	10.4%
呉市	19.5%	9.5%	4.5%	17.5%
その他	1.9%	2.9%	2.8%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

通勤時の移動手段

※住民アンケート調査結果より

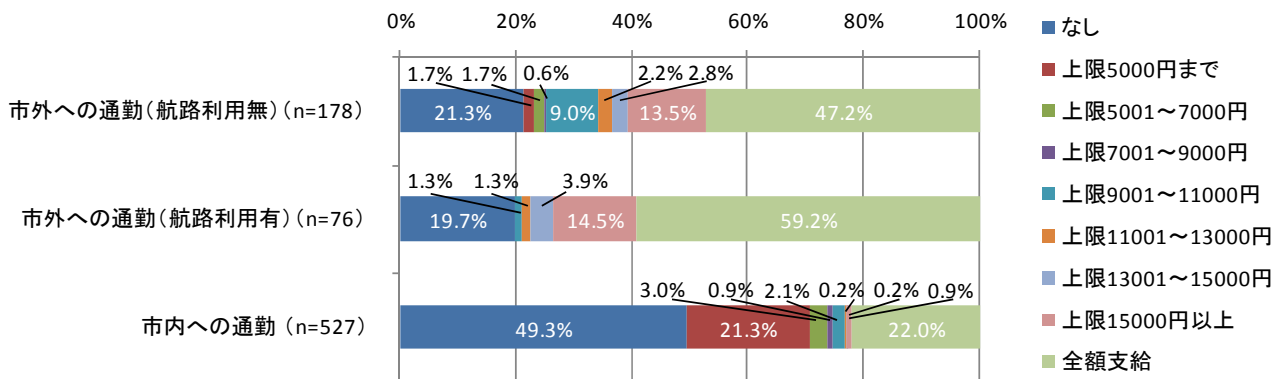
9



通勤手当の支給状況 (月額)

※住民アンケート調査結果より

10



※アンケート調査の問2で会社員、公務員、団体職員、パート、アルバイト、臨時雇い等を選択した回答者のみ集計

市民の通学先

※江田島市資料より

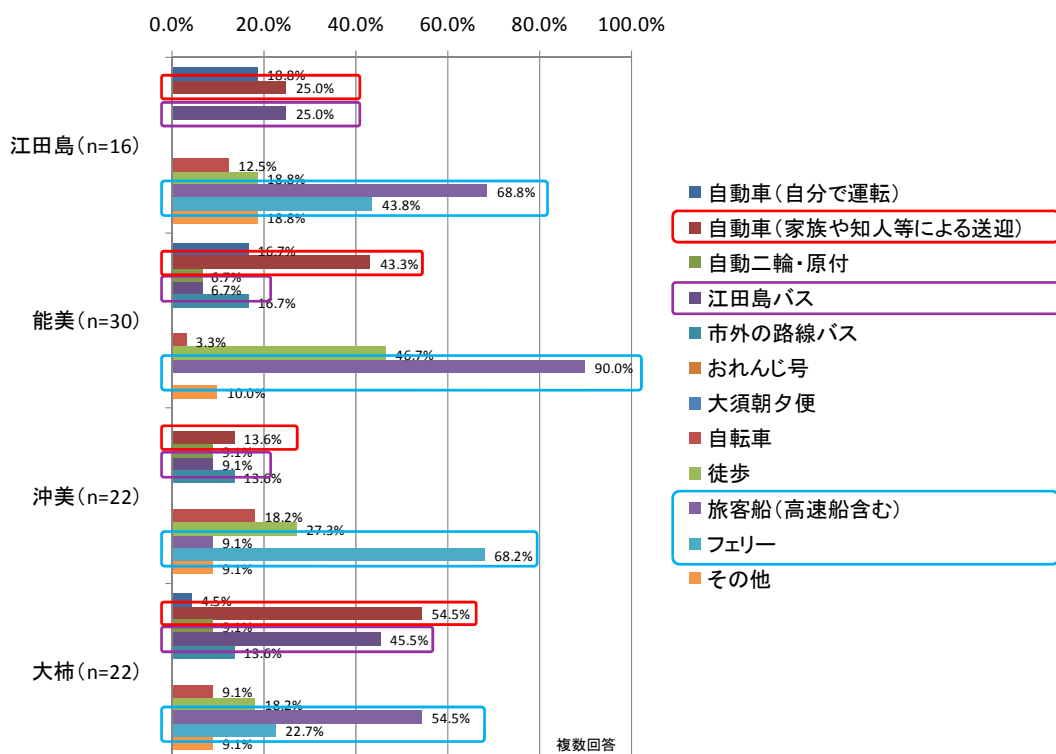
□ 広島市や呉市の高校への通学が圧倒的に多い

通勤先\居住地		江田島	能美	沖美	大柿	合計	割合
江田島市	江田島						
	能美						
	沖美						
	大柿	17	10	2	45	74	15.3%
広島市		51	102	49	53	255	52.8%
呉市		49	5	3	55	112	23.2%
その他		22	8	2	10	42	8.7%
合計		139	125	56	163	483	100.0%

※江田島市の中学卒業生のH24～26年度進学先データより集計

通学時の移動手段

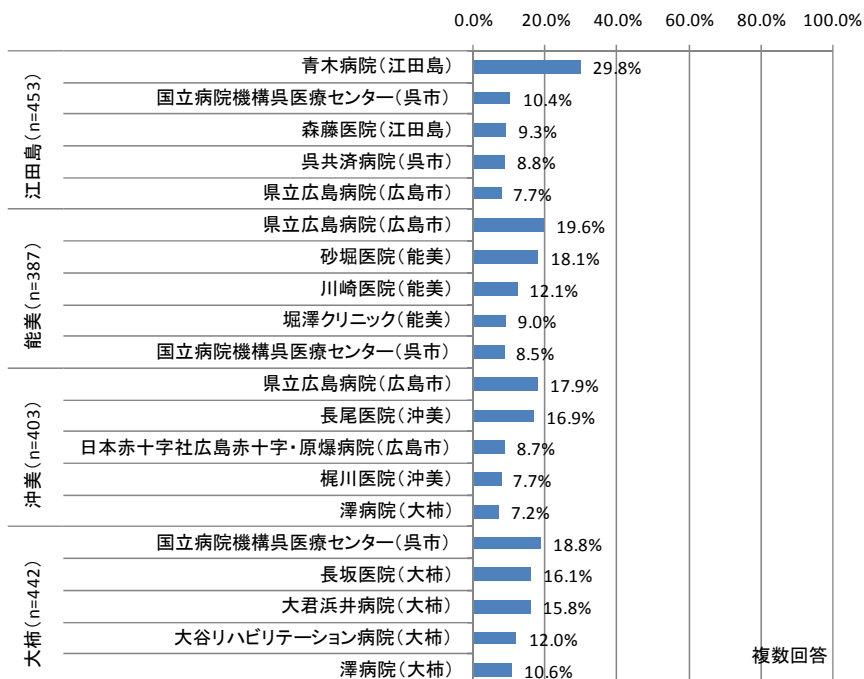
※住民アンケート調査結果より



市民の通院先

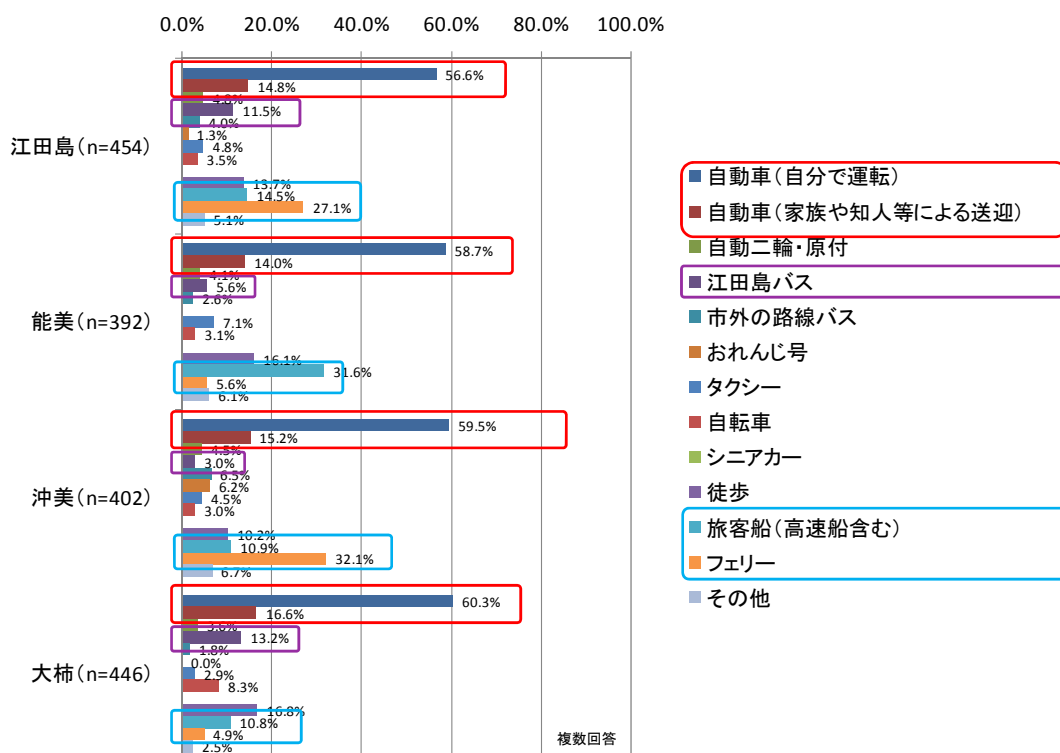
※住民アンケート調査結果より

□ 自地域内の他、広島市や呉市への通院が多い



通院時の移動手段

※住民アンケート調査結果より

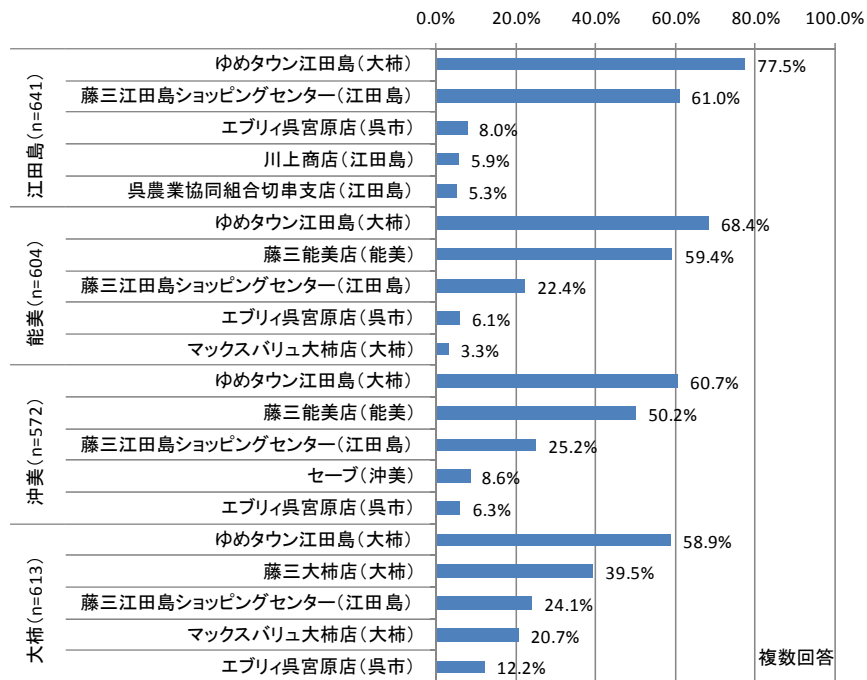


市民の買い物先

※住民アンケート調査結果より

15

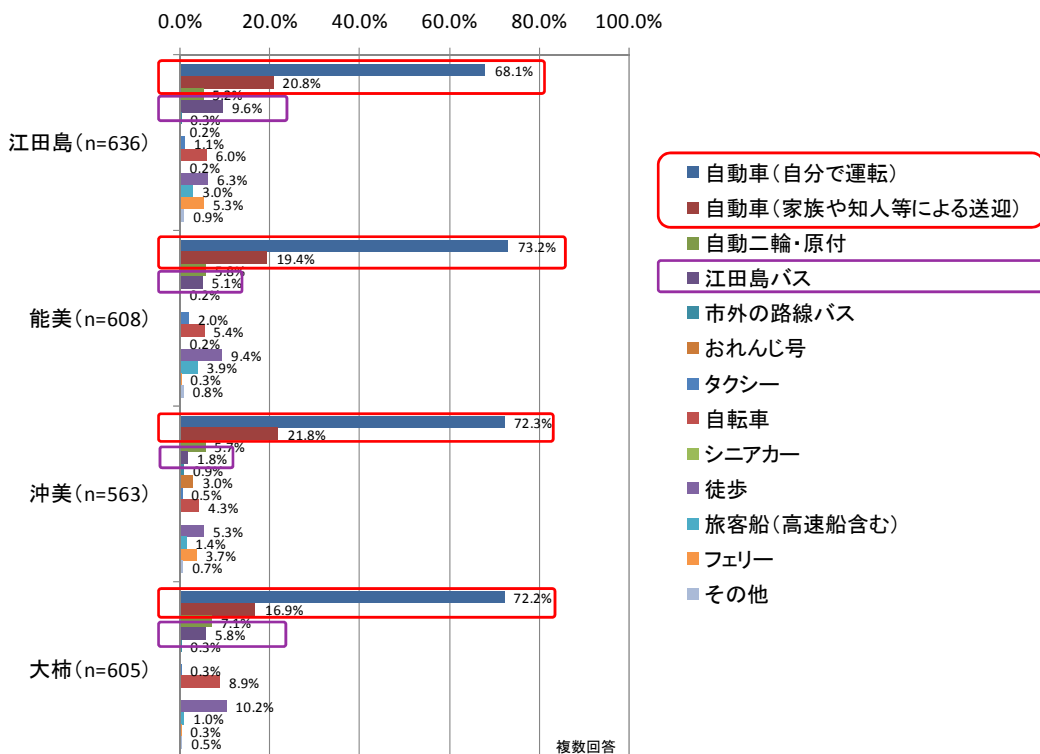
どの地域からも江南方面への買い物が多い



買い物時の移動手段

※住民アンケート調査結果より

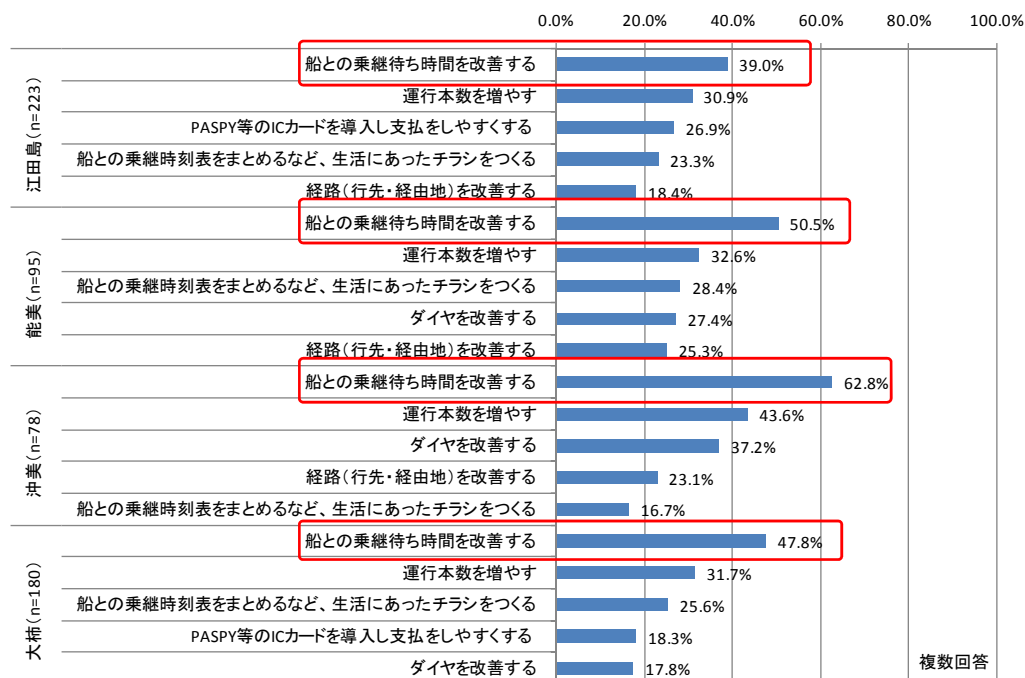
16



既存サービスの要改善点（路線バス）

※住民アンケート調査結果より

18

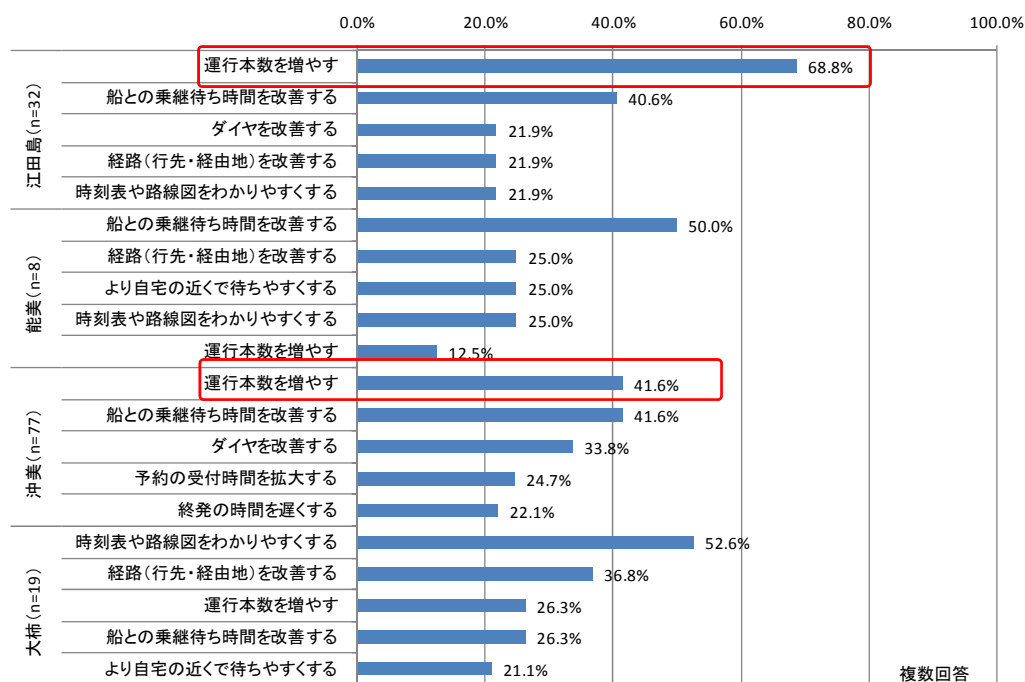


※アンケート調査の間6-1で、「利用している」、あるいは「利用していない」に回答し、かつ問6-2で「今後利用したい」と回答した回答者のみ集計

既存サービスの要改善点（おれんじ号）

※住民アンケート調査結果より

19



※アンケート調査の間6-1で、「利用している」、あるいは「利用していない」に回答し、かつ問6-2で「今後利用したい」と回答した回答者のみ集計

その他公共交通に関する意見等(江田島地域)

※住民アンケート調査結果より

20

種別	自由意見	件数	
路線バス	(時間帯により) 大型バスをやめて、小型バス・中型バスを導入してはどうか	23	総回答者数 770
	経路(行先・経由地)を改善して欲しい	22	
	運行本数を増やして欲しい、運行本数が少ない、便数を減らさないで欲しい	16	
	路線バス以外の公共交通を運行して欲しい(循環バス・スクールバス・乗合タクシー等)	14	
	運賃が高い、運賃の改善や見直しをして欲しい(均一料金等)	13	
おれんじ号	予約が不便なため、予約なしで乗れるようにして欲しい	6	
	おれんじ号が何なのか分からない、タクシーとの違いを知りたい	3	
	乗降場所を増やして欲しい	2	
航路	料金が高い、料金の改善や見直しをして欲しい	16	
	終発の時間を遅くして欲しい(夜の便を増やす)、土日祝の深夜の便が欲しい	11	
	運行本数を増やして欲しい、現状の本数の維持して欲しい	9	
	始発の時間を早くして欲しい、土日祝の早朝の便が欲しい	9	
	ダイヤを改善して欲しい	5	

※問8の自由意見をまとめ、回答数が多いものを抜粋

その他公共交通に関する意見等（能美地域）

※住民アンケート調査結果より

21

種別	自由意見	件数	
路線バス	運賃が高い、運賃の改善や見直しをして欲しい（均一料金等）	26	総回答者数 761
	ダイヤ改善して欲しい	18	
	路線バス以外の公共交通を運行して欲しい（循環バス、おれんじ号、乗合タクシー）	12	
	経路（行先・経由地）を改善して欲しい	10	
	（時間帯により）大型バスをやめて、小型バス・中型バスを導入して欲しい	10	
おれんじ号	ダイヤ改善して欲しい	3	
	予約が不便なため、予約なしで乗れるようにして欲しい	3	
	おれんじ号が何なのか分からない、他のバス等との関係性を知りたい	2	
航路	運賃が高い、運賃の改善や見直しをして欲しい	67	
	ダイヤを改善して欲しい	14	
	海上交通は残して欲しい（その為には本数減らしても良い）	14	
	終発の時間を遅くして欲しい、土日祝の深夜の便が欲しい	9	
	運行本数が少ないため、増やして欲しい（昼間）	8	

※問8の自由意見をまとめ、回答数が多いものを抜粋

その他公共交通に関する意見等（沖美地域）

※住民アンケート調査結果より

22

種別	自由意見	件数	
路線バス	乗客が居ない時間の運行本数を見直しして欲しい	13	総回答者数 696
	路線バスをやめて他の形態にして欲しい（タクシー補助・おれんじ号・循環バス）	13	
	運行本数が少ないため、運行本数を増やして欲しい	11	
	運賃が高いため、運賃の改善や補助をして欲しい（均一料金等）	11	
	（時間帯により）大型バスをやめて、小型バス・中型バスを導入して欲しい	10	
おれんじ号	予約が不便なため、おれんじ号を予約なしで乗れるようにして欲しい	9	
	ダイヤを改善して欲しい	8	
	より自宅近くで乗降できるようにして欲しい	3	
航路	運賃が高い、運賃の改善や見直しをして欲しい、補助等をして欲しい	44	
	終発の時間を遅くして欲しい（夜の便が無いのが不便）	21	
	航路の改善や乗降できる港を増やして欲しい	14	
	ダイヤを改善して欲しい	11	
	海上交通は残して欲しい	9	

※問8の自由意見をまとめ、回答数が多いものを抜粋

その他公共交通に関する意見等（大柿地域）

※住民アンケート調査結果より

23

種別	自由意見	件数	総回答者数 742
路線バス	（時間帯により）大型バスをやめて、小型バス・中型バスを導入して欲しい	22	
	運賃が高い、運賃の改善や補助をして欲しい（均一料金等）	19	
	運行本数が少ないため、運行本数を増やして欲しい	15	
	経路（行先・経由地）を改善・追加して欲しい	15	
	ダイヤを改善して欲しい	13	
おれんじ号	対応する地域や経路を増やして欲しい	2	
航路	運賃が高いため、運賃の見直しや補助をして欲しい、回数券の期限を延ばして欲しい	32	
	ダイヤを改善して欲しい	8	
	海上交通は残して欲しい	5	
	終発の時間を遅くしてほしい（夜の便が無いのが不便）	4	

※問8の自由意見をまとめ、回答数が多いものを抜粋

具体的な改善要望の例①

※総合計画策定時の市民ワークショップの結果より

24

分類	具体的な意見
海上交通の確保・充実	<ul style="list-style-type: none"> 海上交通は専門シンクタンクの知恵を借り、持続可能な仕組みづくりを 海上交通の充実（船便が少ない、終便が早い） 船賃（高速艇、フェリー）を安くする 広島・呉への通勤通学者への支援 定住を進める上で、船便がない・不便であることは致命的になる
バス等の確保・充実	<ul style="list-style-type: none"> バスの定期便は今後も維持してほしい 切串港からの交通便が難しいとの高齢者の声がある 秋月地区は、通学に利用しやすいバスがなく不便 通勤通学で便利の良いバスがない 無料もしくは安価な循環バスを走らせる 客の乗っていないバスをよく見かける（バス運営方法に疑問。小さめのバスを巡回を） 住民のニーズを反映する方法で、老人が使える公共バスを運行できないか おれんじ号の時間を再編，増便（通院しやすいように，日曜日の買い物専用など。前日予約利用は使いにくい）



具体的な改善要望の例②

※住民意見交換会@是長の結果より

25

- おれんじ号が県道と海岸沿いの道しか走らないため、県道より上の斜面に住んでいる人は大変
- 大柿の病院に行くのに利用したくても、現在のダイヤでは利用しづらい
- 三高のフェリーとの接続が悪い 等



斜面上の住宅地への対応状況（是長）

※おれんじ号沖美南部線の運行経路

26



大柿方面へのダイヤの状況

予約型乗合タクシー
おれんじ号
③沖美南部線

ご利用の際は各便の
 予約締切時間までにお電話ください。

☎45-2525
 (FAX 45-2627)

- 運行事業者：能美タクシー
- 受付時間：9:00～17:00

運行日 月～土曜日運行

※祝祭日・年末年始(12/29～1/3)は連休

運賃

1乗車につき300円

※大柿町内で乗降する場合は600円
 ※小学生以下は半額



【上り】三吉⇒高祖⇒美能⇒是長⇒畑⇒岡大王⇒鹿川⇒中町⇒大柿町(医療施設)

予約締切時間	三高棧橋	美能	是長	大王	是長口	中町棧橋	シーサイド温泉のうみ	大君浜井病院	大谷病院
1便 前日 17:00	宇品7:30発フェリー					バス9:07発 9:18発 高速船			
2便 前日 17:00						バス10:15発 南大君行			
3便 12:22	宇品12:40発フェリー					バス13:55発 南大君行			
4便 13:48						バス15:20発 南大君行			

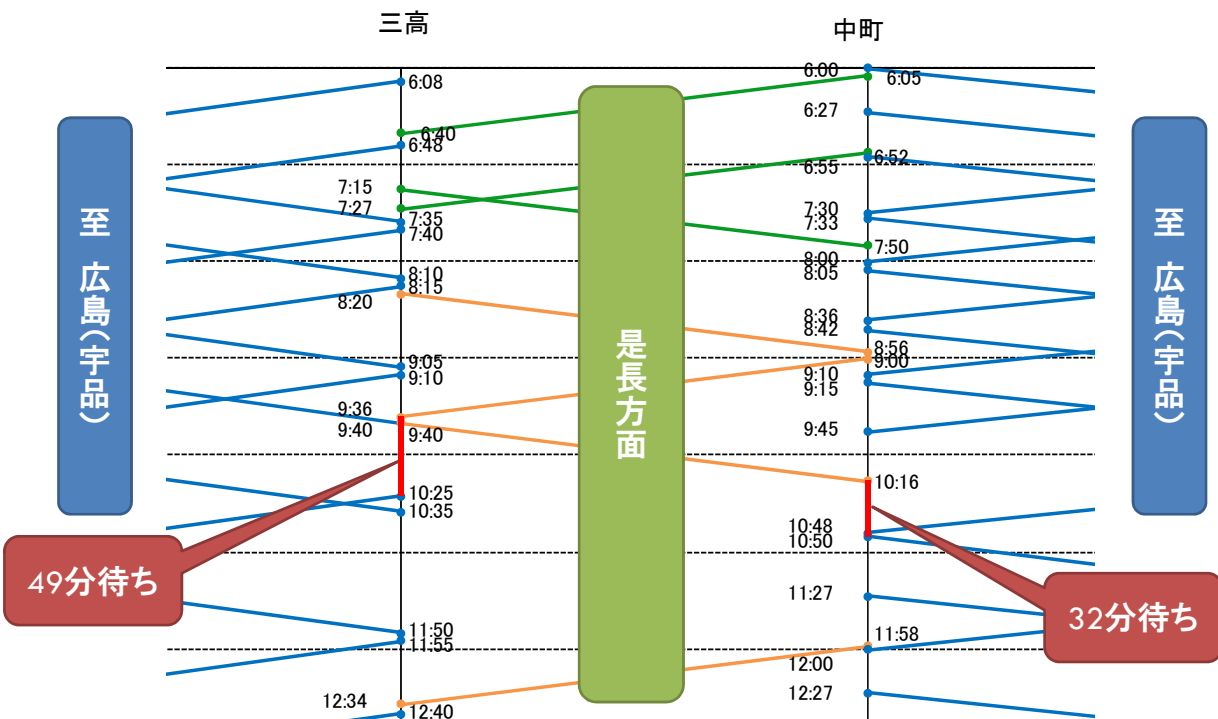
【下り】大柿町内(医療施設)⇒中町⇒鹿川⇒岡大王⇒畑⇒是長⇒美能⇒高祖⇒三吉

予約締切時間	大谷病院	大君浜井病院	シーサイド温泉のうみ	中町棧橋	是長口	大王	是長	美能	三高棧橋
1便 前日 17:00									8:15発フェリー
2便 前日 17:00									
3便 10:40									
4便 13:05									
5便 14:30									

※注：【下り】3便は中町棧橋で高速船との接続はしていません。平成27年10月1日現在

航路との接続状況 (是長方面)

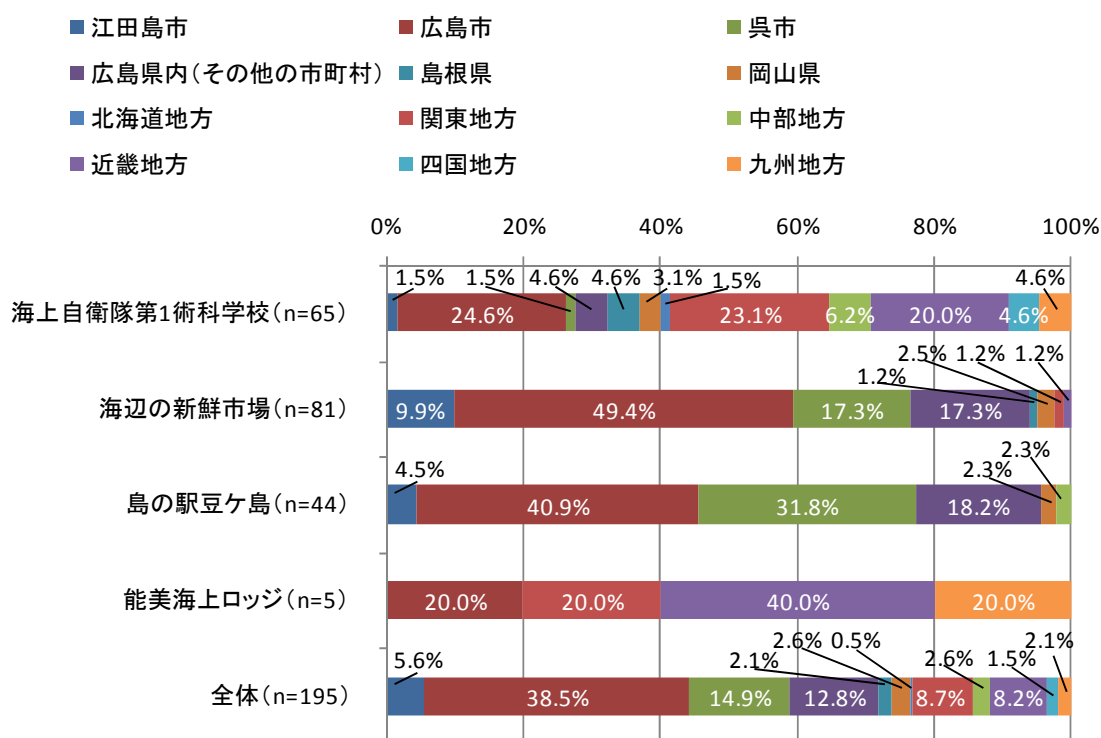
— 路線バス — おれんじ号 — 航路(広島方面)



江田島市への観光来訪者の居住地分布

※観光来訪者インタビュー調査結果より

30

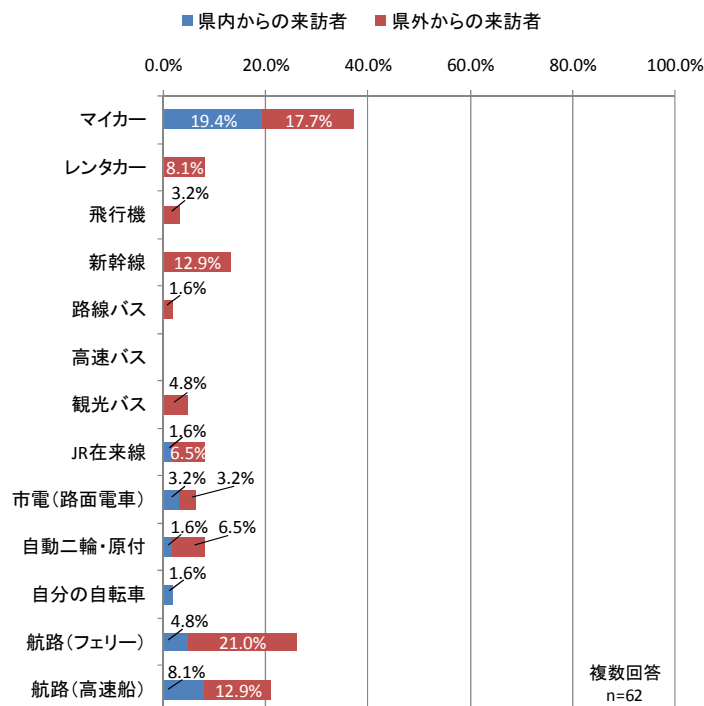


江田島市に来る際の交通手段

※観光来訪者インタビュー調査結果より

31

<海上自衛隊第1術科学校>



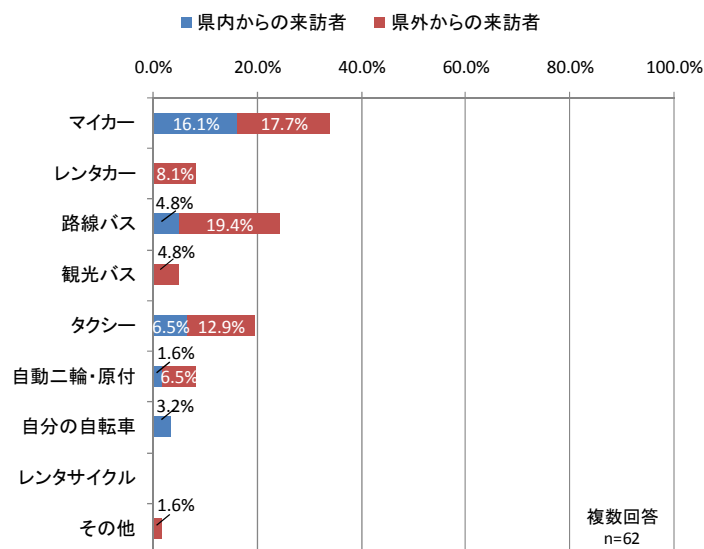
※江田島市の住民の回答を除いて集計

江田島市内での交通手段

※観光来訪者インタビュー調査結果より

32

<海上自衛隊第1術科学校>



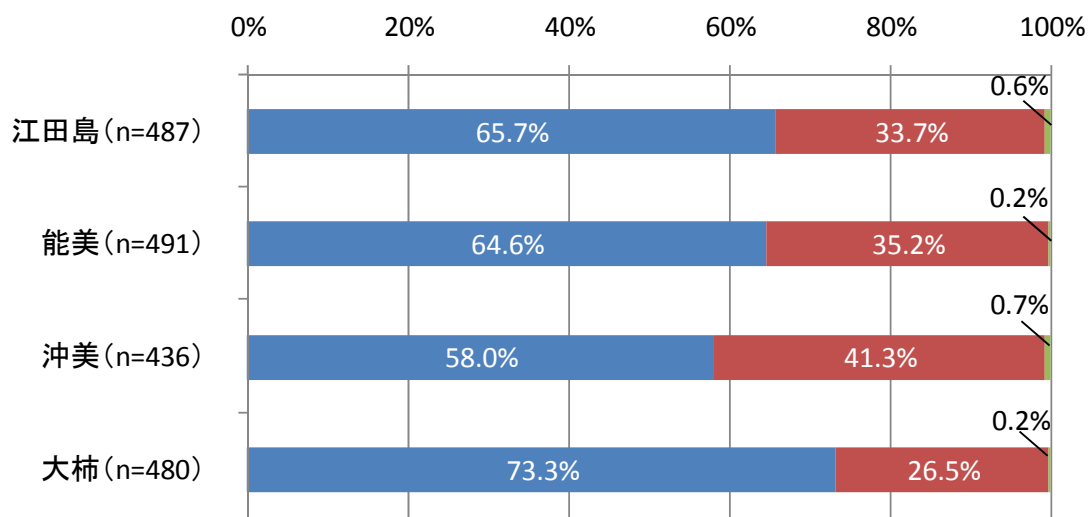
※江田島市の住民の回答を除いて集計

第二音戸大橋の影響

※住民アンケート調査結果より

- 回答者の3～4割程度は、第二音戸大橋開通後、陸路での移動機会が増加（フェリー航送利用が減少）

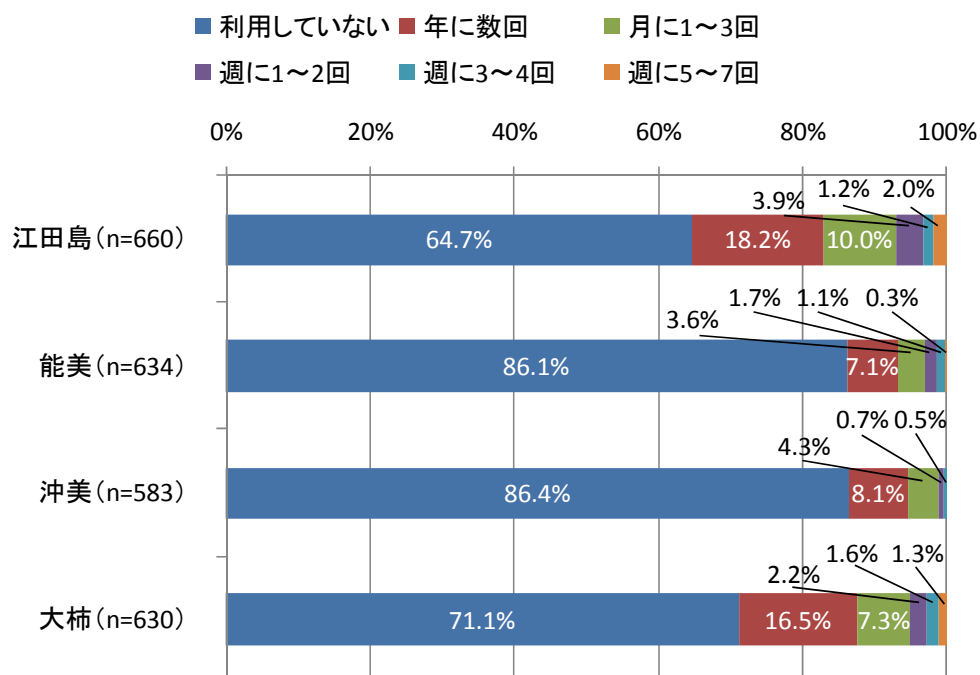
■ 特に変化なし ■ 陸路で移動する機会が増えた ■ フェリー航送利用が増えた



市民の路線バスの利用実態

※住民アンケート調査結果より

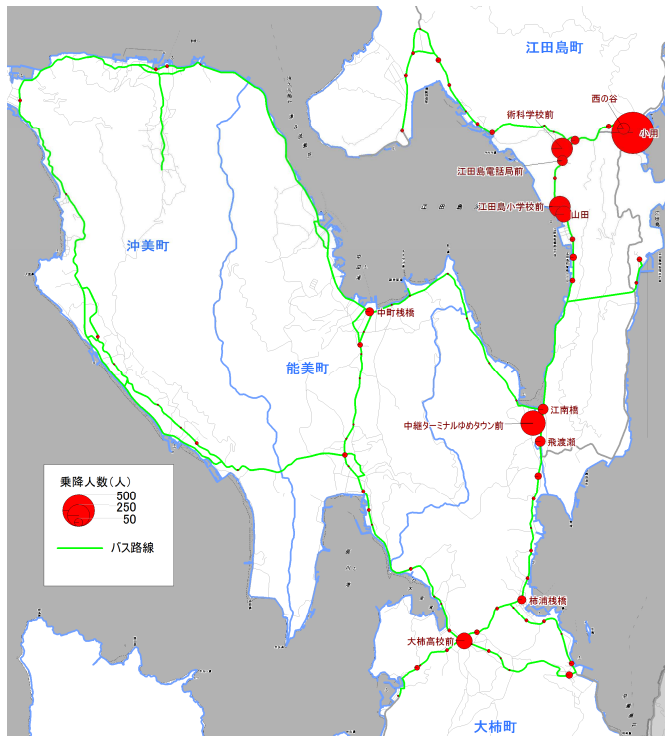
□ 回答者の多くはバスをほとんど利用していない



市内におけるバスの利用状況

※江田島バスのH27年度利用実態調査結果より

37

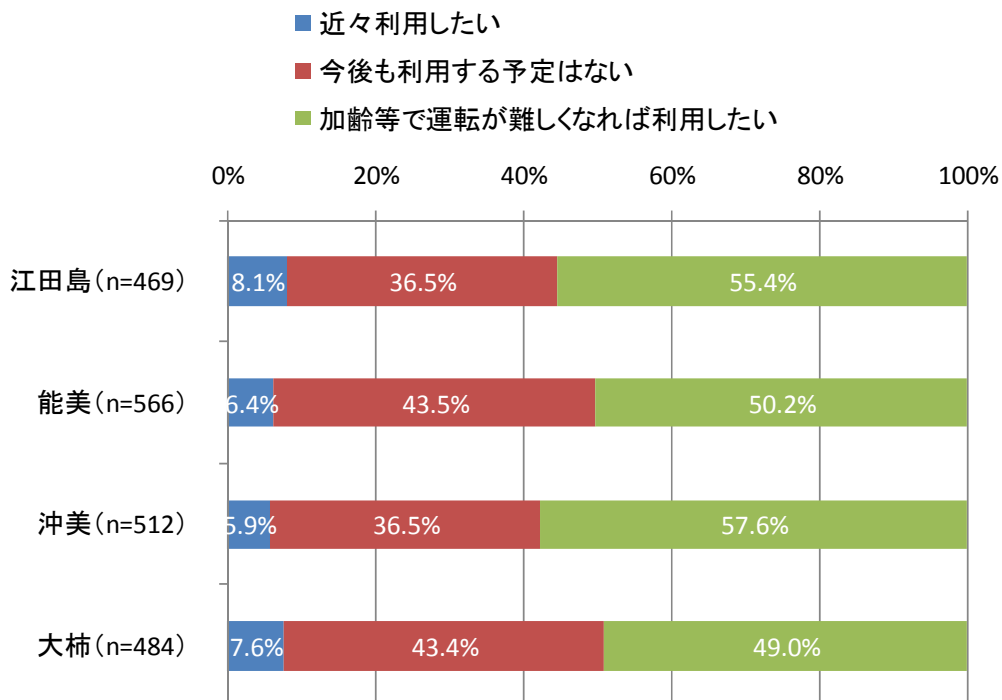


- 利用の多くは小用～ゆめタウン前～大柿
- 西側での利用は非常に少ない（サービス水準も低い）

利用していない人の今後の利用意向

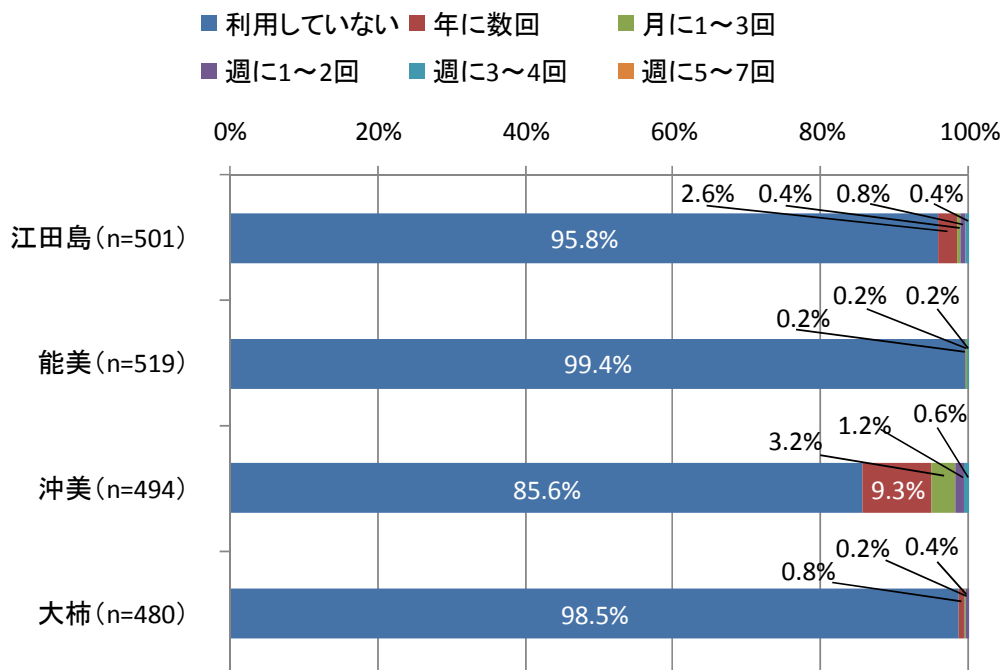
※住民アンケート調査結果より

38



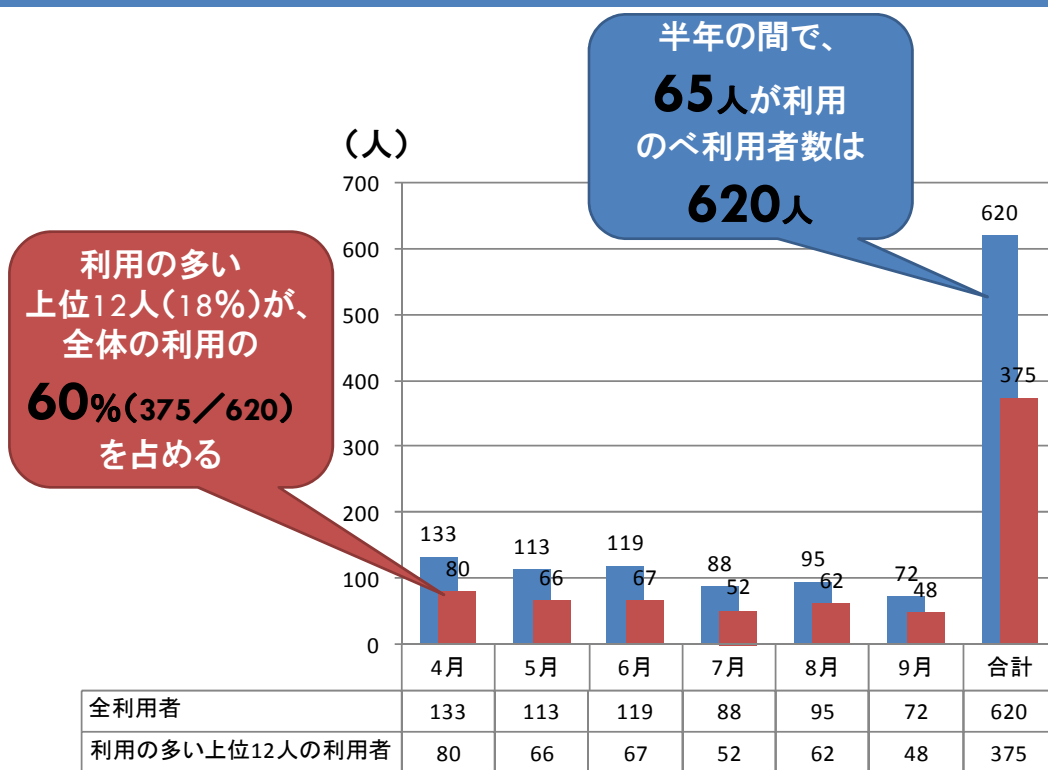
市民のおれんじ号の利用実態

※住民アンケート調査結果より



おれんじ号の利用状況（江田島北部線）

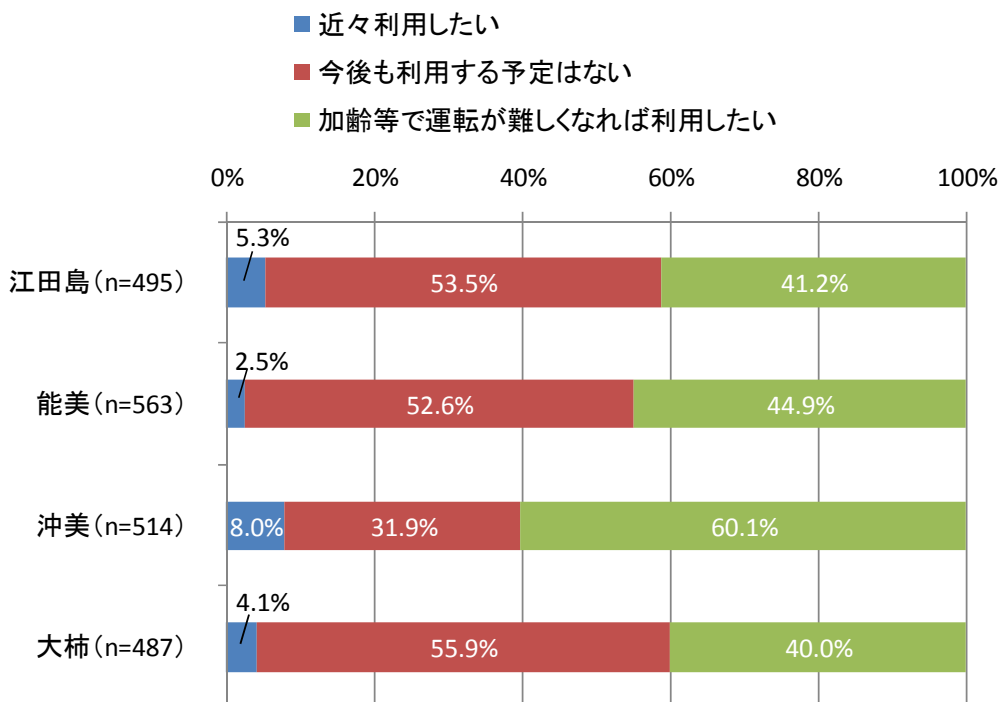
41



利用していない人の今後の利用意向

※住民アンケート調査結果より

42



交通事業者の声（海上）

- 第二音戸大橋開通の影響で車両航送による収入が減少している
- 利用者の長期的な減少傾向は、江田島市の生産年齢人口の減少に比例している
- 船員の確保・育成が難しくなりつつある
- 今年は落ち着いているが、燃料費の高騰すると経営が厳しくなる
- 船の耐用年数が過ぎても、なかなか新たな船を買って入れ替えをできない経営状況にある

交通事業者の声（陸上）

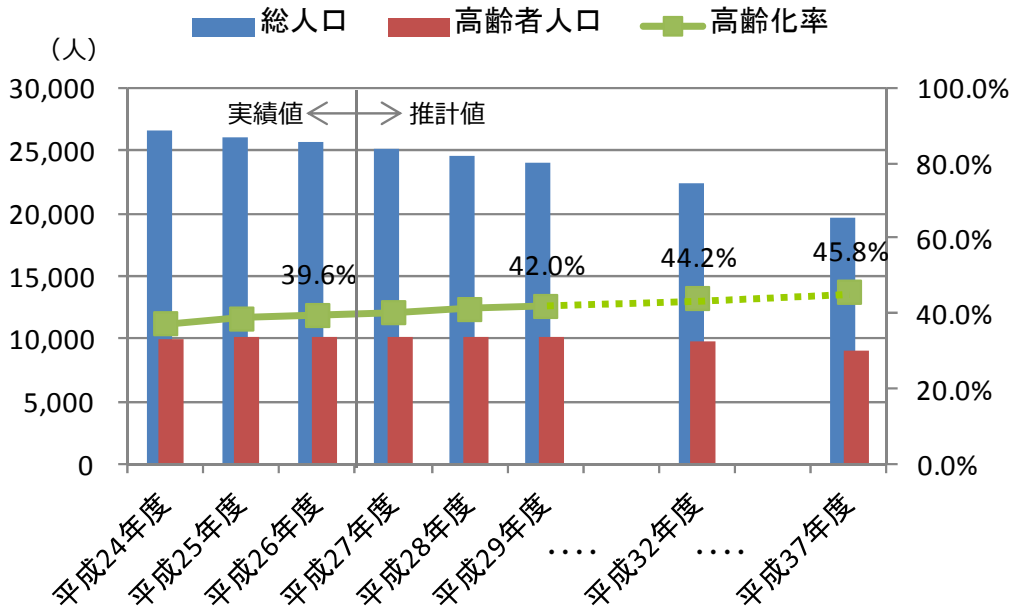
45

- 以前はもう少し遅い時間まで運行していたが、利用者がいないので徐々に取りやめてきた
- 一部の車両は老朽化が進んでいるが、自社で購入する財力はないため、行政による協力が必要
- 運転士の確保・育成が難しい状況（定年60歳を過ぎても元気な人は嘱託で残ってもらわないと運行できない）
- 地域の実情にあった運行の仕方があってよいと思うが、法律（道路運送法など）に縛られることが多い

46

その他考慮すべき事項

人口・高齢化の動向



資料：江田島市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画

江田島市が目指す方向

『市民満足度の高いまちづくり』の数値目標
 市民満足度ポイント 70点以上(平成 36 年度)
 ○(計画前半)市民満足度の低い分野の解消に注力 ⇒60点
 ○(計画後半)市民満足度の高い分野の向上へシフト⇒70点
 (平成 25 年度:54.4 点)

基本構想
 <10年後の目指す姿>
協働と交流で創りたす『恵み多き島』えたじま
 平成 36 年度における目標人口
23,000人
 (平成 26 年 11 月現在: 約 25,650 人)

『未来を切り開くまちづくり』の数値目標
 平成 36 年度 交流人口の倍増(総観光客数 100 万人)
 (平成 24 年度:54.3 万人)

基本計画

●**教育・文化** 将来像:子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じる『人が育ち、輝くまち』が定着しています

第1節 学校教育の充実 1 学校教育の内容(小中学校) 2 学校と地域・家庭との連携関係 3 学校施設の整備

第2節 生涯学習の充実 1 生涯学習活動の支援 2 社会教育施設の整備 3 伝統文化・文化財の保護

第3節 スポーツの振興 1 スポーツ・レクリエーションの普及・振興 2 社会体育施設の整備

●**産業・観光** 将来像:地域経済と雇用を支え、UJターン等の定住を促進する『元氣な産業・観光を生み出すまち』が育っています

第1節 農林業の振興 1 農林業の生産基盤の整備 2 農林業の後継者・担い手の育成 3 農林産物の高付加価値化・ブランド化

第2節 水産業の振興 1 水産業の生産基盤の整備 2 水産業の後継者・担い手の育成 3 水産物の高付加価値化・ブランド化

第3節 商工業の振興 1 企業誘致の推進 2 創業・起業への支援 3 地場産業への支援 4 労働者福祉の向上

第4節 観光の振興 1 観光資源の発掘・魅力づくり 2 宿泊・観光施設の整備

●**福祉・保健** 将来像:乳幼児期から高齢期まで、すべての市民が家庭や地域で、元気で生き生きと日常生活が送れる『健康で安心して暮らせるまち』が築かれています

第1節 子育て支援サービスの充実 2 保育園・児童館等の整備

第2節 保健・医療の充実 1 保健・健康づくりサービスの充実 2 医療機関の充実

第3節 高齢者福祉・介護の充実 1 高齢者福祉サービスの充実 2 介護サービスの充実 3 高齢者福祉・介護施設の整備

第4節 障害者福祉の充実 1 障害者福祉サービスの充実 2 障害者福祉施設の整備

第5節 社会福祉の充実 1 セーフティネットの確保 2 地域福祉・ボランティアの推進

●**生活・環境** 将来像:美しい自然と環境に育まれながら、市民一人ひとりが互いに尊重しあい、心豊かに暮らせる『生活と環境を守り、高めまち』が築かれています

第1節 人権尊重と男女共同参画の推進 1 人権尊重の社会づくり 2 男女共同参画の推進

第2節 公衆衛生の確保 1 公衆衛生の確保・環境美化 2 ゴミ対策・リサイクルの推進

第3節 自然環境の保全 1 地球温暖化対策 2 自然環境の保全

●**安全・安心** 将来像:日頃から災害や事故などの防止と、万一の災害等が発生した場合の備えを整え『災害に強く、安心して暮らせるまち』が築かれています

第1節 大規模災害時の危機管理 1 大規模災害等に備えた危機管理体制の構築 2 地域防災活動への支援 3 避難所等の整備

第2節 総合的な消防体制の充実・強化 1 消防体制の充実・強化 2 救急体制の充実・強化 3 火災予防の推進

第3節 暮らしの安全の確保 1 防災・交通安全の確保 2 消費者行政の充実

●**基盤** 将来像:市民生活や都市活動を支える道路・交通、上下水道、住宅、公園など『しっかりとした基盤を備えたまち』が築かれています

第1節 都市基盤の整備 1 道路の整備 2 港湾・漁港の整備 3 防災対策(河川・急傾斜地) 4 上下水道の整備 5 下水道の整備

第2節 生活基盤の整備 1 住宅・住環境の整備 2 公園緑地の整備 3 計画的な土地利用 4 公共施設の再編・整備

第3節 生活交通の確保 1 海上交通の確保 2 バス等の確保

●**地域** 将来像:市民生活や都市活動を支える人々の様々な交流やふれあいが生まれ、UJターンによる定住も多くなり、『地域が元気で、にぎやかなまち』が築かれています

第1節 都市との交流・定住の促進 1 都市との交流の促進 2 定住促進策の推進

第2節 コミュニティの整備 1 自治会等の地域活動への支援 2 国際化・多文化共生の推進 3 地域活動拠点の整備

戦略

「絵になる島」づくりプロジェクト
 <プロジェクトの柱(取組の方向)…主な取組の一部紹介>
 1 海と川の美しい環境づくり
 …漁場環境の改善、公共下水道の整備など

「楽しめる島」づくりプロジェクト
 <プロジェクトの柱(取組の方向)…主な取組の一部紹介>
 1 多様な体験型観光イベントの展開
 …マリン大会の開催、観光体験メニューの開発推進など

「自慢できる島」づくりプロジェクト
 <プロジェクトの柱(取組の方向)…主な取組の一部紹介>
 1 特色ある教育・スポーツによる人づくり
 …重宝を教育資源とした体験活動の推進、市民スポーツの振興、公民館学習支援や交流機会の提供など

「また来たい島」づくりプロジェクト
 <プロジェクトの柱(取組の方向)…主な取組の一部紹介>
 1 おもてなしの島づくり
 …観光ボランティアの養成、広域誘客の促進、主要観光施設への情報インフラの整備、情報発信力の強化など

「横断的に施策・事業を実施」

「部門・分野別に施策・事業を実施」

前計画の実施状況

49

番号	内容	実施状況	備考
施策1	西能美航路の合理化・効率化	概ね予定通り実施	第二音戸大橋の影響で依然厳しい状況
施策2	バス路線の系統整理とターミナルの機能強化	ターミナルは整備したが、ダイヤ編成等が難航	人的リソースの不足
施策3	交通空白不便地域への移動手段確保	概ね予定通り実施	地域ニーズとの整合性やサービス提供の効率性を再検証する必要あり
施策4	栈橋や主要バス停における施設整備	未実施	道路用地内での整備には限界あり
施策5	ICカードの導入	調査・検討は実施したが、導入には至らず	費用負担が大きくなりがち
施策6	インターネット等による情報提供の充実	概ね予定通り実施	利用状況等を検証する必要あり
施策7	市内外の観光施設とタイアップした観光ルートの形成	概ね予定通り実施	ターゲットの絞り込みを行う必要あり
施策8	サイクル&シップライド型エコツーリングの推進	概ね予定通り実施	他のアクティビティを含め、来訪者を増やすための検討を行う必要あり

50

江田島市の公共交通の課題

路線網、結節点等について

51

- 現在・これからの“まちのすがた”や移動ニーズに合わせた路線網の再編
- 幹線・支線等の役割分担の明確化
- 移動ニーズにあった便数・ダイヤの提供
- 乗継ターミナルの機能強化

利用環境について

52

- 日常的に市外に移動する人の運賃の負担感の軽減（定住促進）
- 市民や来訪者に対する情報提供（路線図、時刻表、のりば案内等）の改善・充実
- 乗継環境の改善（ダイヤ調整、待合環境等）
- さらなる高齢化を踏まえたバリアフリー化の推進
- 接遇の向上

体制整備について

- 公共交通を守り育てる意識の醸成
- 事業者間での連携の強化
- 公共交通を持続可能なものとするための担い手の支援
(人材育成等)